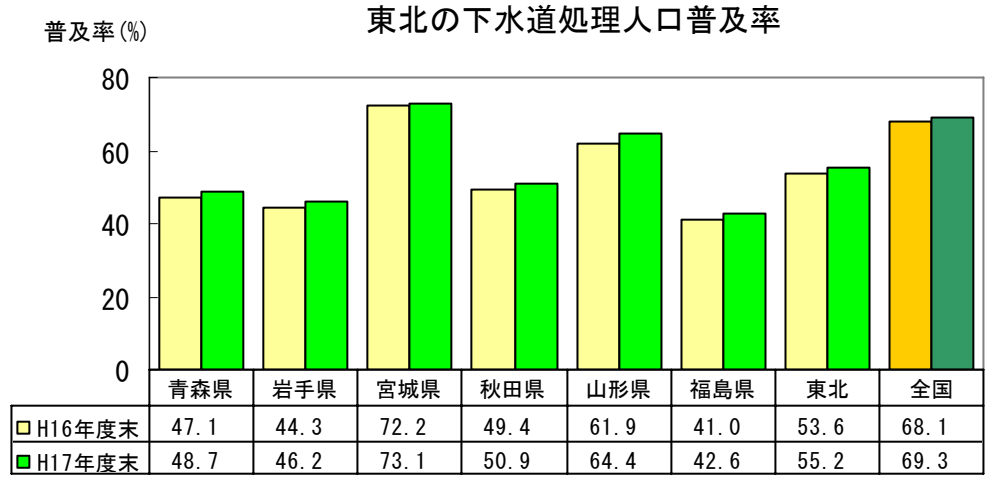
下水道処理人口普及率

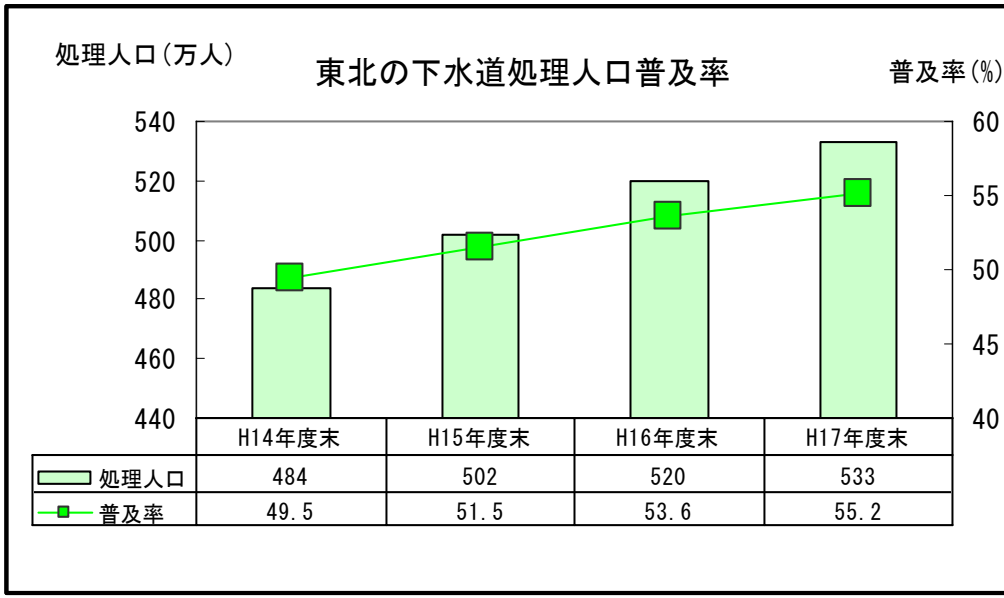
○平成17年度末の東北の下水道処理人口普及率が ***55.2%*** に達しました。

（平成16年度末53.6%より1.6%上昇）

○東北地方で下水道利用可能な人口が ***約533万人*** となりました。

（平成16年度末約520万人より約13万人増加）





[下水道処理人口普及率]

総人口のうち、下水道を利用できる人の割合

$$\text{下水道処理人口普及率(\%)} = \frac{\text{処理区域内人口}}{\text{総　人　口}} \times 100$$

東北管内県別下水道処理人口普及率ベスト10市町村

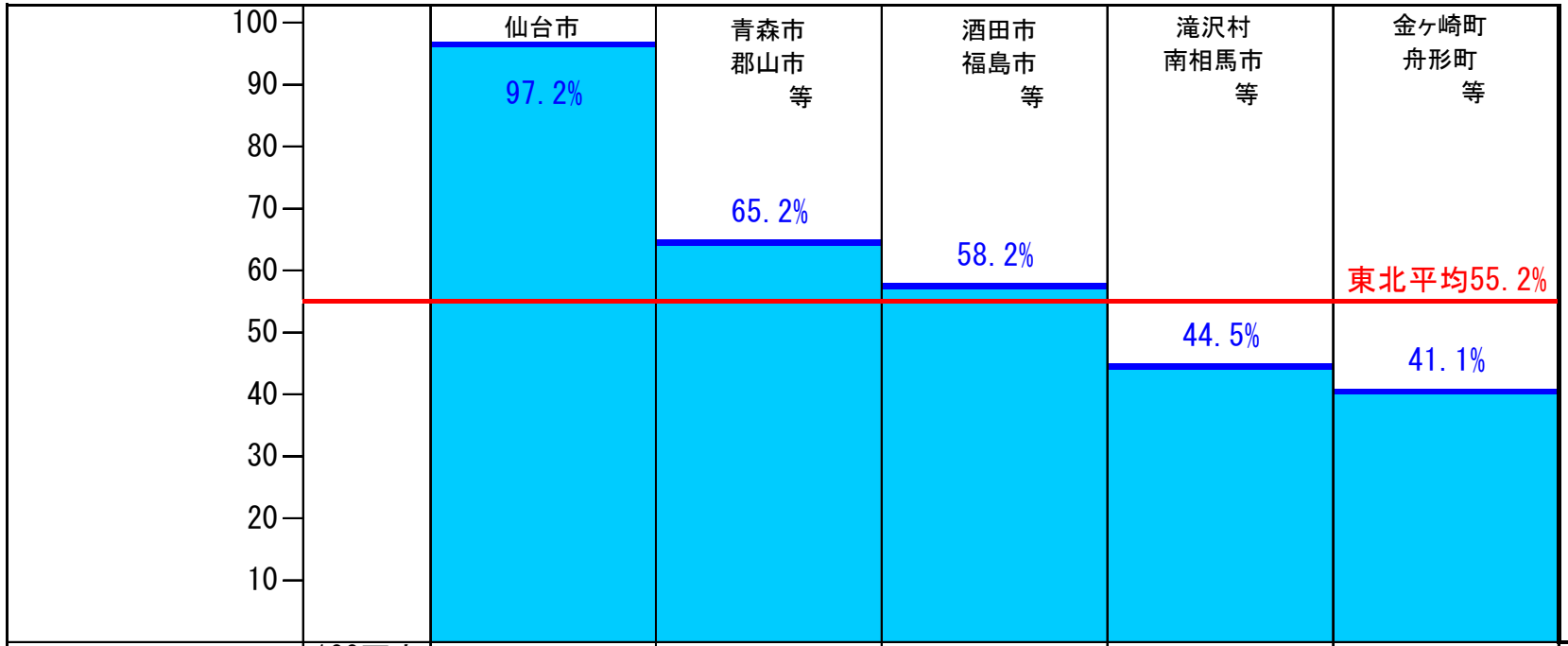
	青森県			岩手県			宮城県			秋田県			山形県			福島県		
	市町村名		普及率	市町村名		普及率	市町村名		普及率	市町村名		普及率	市町村名		普及率	市町村名		普及率
1	(12)	田舎館村	89.4%	(19)	盛岡市	82.8%	(3)	七ヶ浜町	99.6%	(1)	大潟村	100.0%	(7)	天童市	96.0%	(1)	檜枝岐村	100.0%
2	(21)	弘前市	79.7%	(38)	西和賀町	65.4%	(4)	多賀城市	99.0%	(15)	八郎潟町	87.8%	(11)	山形市	90.0%	(20)	北塩原村	82.7%
3	(24)	平川市	76.0%	(43)	矢巾町	63.9%	(5)	塩竈市	98.5%	(17)	秋田市	84.3%	(13)	山辺町	88.0%	(26)	楢葉町	74.2%
4	(31)	青森市	69.5%	(54)	北上市	59.0%	(6)	仙台市	97.2%	(23)	井川町	77.5%	(25)	中山町	75.4%	(27)	双葉町	72.8%
5	(56)	十和田市	56.7%	(62)	宮古市	55.0%	(8)	富谷町	94.8%	(30)	潟上市	70.4%	(29)	高畠町	70.6%	(28)	広野町	70.6%
6	(60)	六ヶ所村	55.3%	(72)	釜石市	53.2%	(9)	利府町	93.6%	(40)	八峰町	65.3%	(35)	寒河江市	67.6%	(33)	鏡石町	68.9%
7	(69)	おいらせ町	53.5%	(79)	紫波町	49.9%	(10)	七ヶ宿町	90.2%	(48)	三種町	60.8%	(36)	鶴岡市	66.5%	(39)	郡山市	65.3%
8	(71)	黒石市	53.2%	(83)	花巻市	49.1%	(14)	大河原町	88.0%	(65)	にかほ市	54.2%	(37)	村山市	66.2%	(50)	湯川村	60.2%
9	(85)	八戸市	48.3%	(89)	滝沢村	47.7%	(16)	名取市	86.0%	(74)	五城目町	52.5%	(41)	東根市	64.9%	(55)	相馬市	57.6%
10	(88)	藤崎町	47.9%	(98)	雫石町	42.9%	(18)	岩沼市	84.2%	(78)	藤里町	50.0%	(44)	上山市	63.5%	(57)	会津若松市	55.7%

※（ ）は東北全体での順位、赤字は東北全体での10位以内

人口規模別下水道処理人口普及率

○５万人未満の市町村での普及が特に遅れており、普及率は４１．１%となっています。

東北における平成17年度末の下水道処理人口普及率(人口規模別)



人口規模	100万人以上	50～100万人	30～50万人	10～30万人	5～10万人	5万人未満	計
総人口(万人)	0	100	134	244	179	310	966
処理人口(万人)	0	97	87	142	80	127	533
総都市数	0	1	4	14	25	188	232
実施都市数	0	1	4	14	25	154	198
未着手都市数	0	0	0	0	0	34	34
供用都市数	0	1	4	14	25	146	190
未供用都市数	0	0	0	0	0	8	8

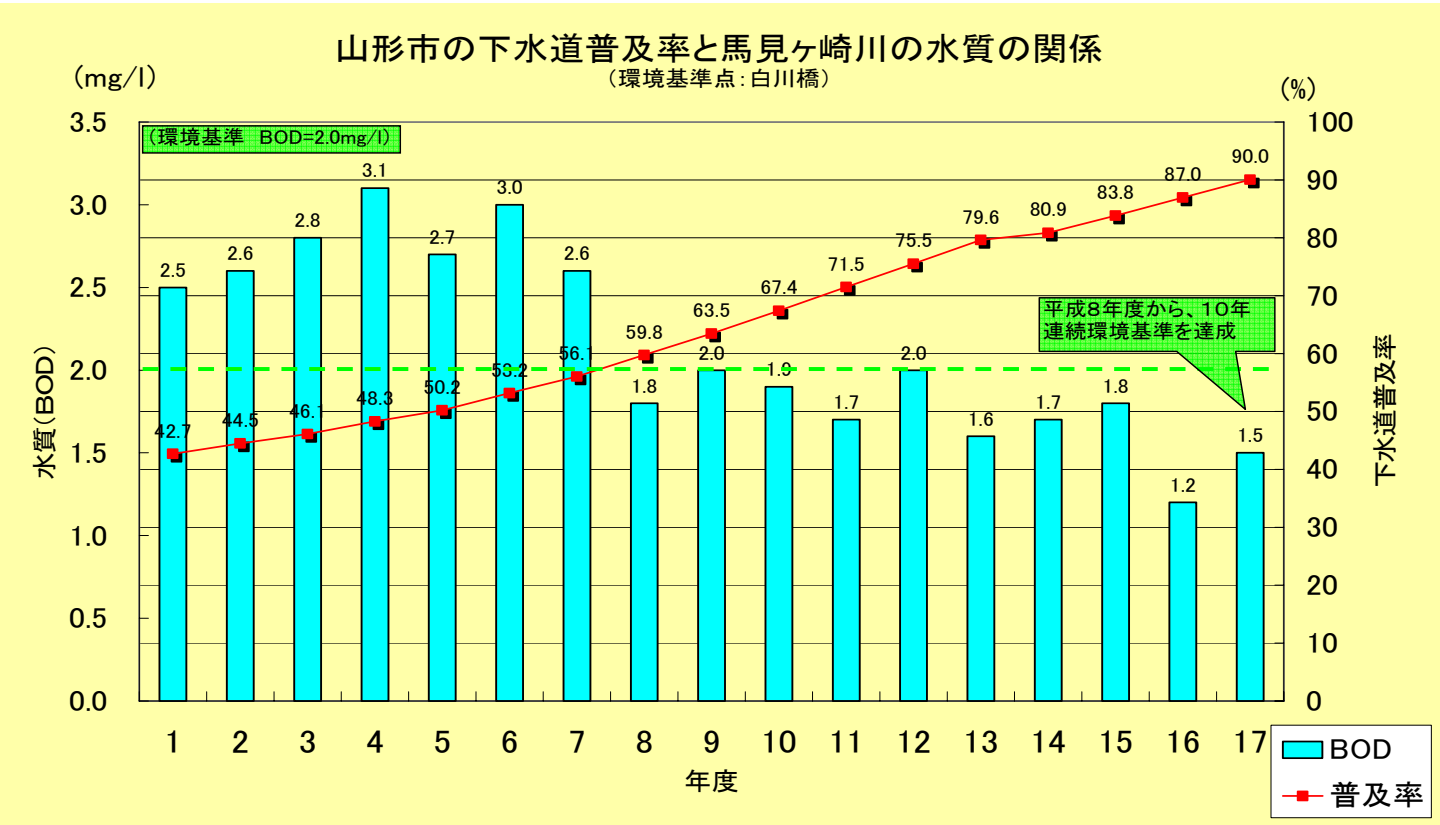
注)総人口、処理人口は、四捨五入を行ったため、合計があわないことがあります。

下水道整備効果（汚水対策）事例［山形県山形市］

馬見ヶ崎川（まみがさきがわ）は、蔵王山系を源流とする、山形市内の中心部を流れている一級河川であり、最上川水系須川の最大の支川です。

春は川沿いに咲く桜が市民の目を楽しませ、夏には水遊びの場として多くの子どもたちで賑わい、秋には河川敷で芋煮会が行われるなど、四季の彩りを持つ市民の憩いの場として親しまれています。

馬見ヶ崎川周辺では、早くから下水道が整備され、馬見ヶ崎川の水質保全に貢献しています。



［現在の馬見ヶ崎川］

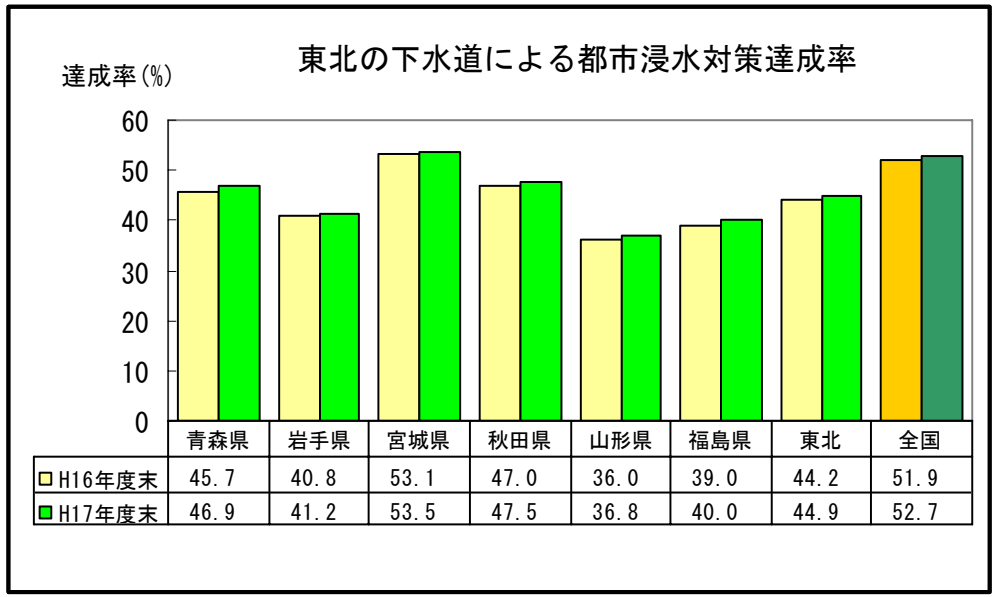


※BOD（生物化学的酸素要求量）とは、水質汚濁を示す代表的な指標で 数値が低いほど環境に良いとされています。

下水道による都市浸水対策達成率

○平成17年度末の東北の下水道による都市浸水対策達成率が ***44.9%*** に達しました（平成16年度末44.2%より0.7%上昇）。

○東北地方で都市浸水対策が必要な市街地面積の内、平成16年度からの１年間で ***約900ha*** の整備が完了しました。



	青森県	岩手県	宮城県	秋田県	山形県	福島県	東北	全国
H16年度末	45.7	40.8	53.1	47.0	36.0	39.0	44.2	51.9
H17年度末	46.9	41.2	53.5	47.5	36.8	40.0	44.9	52.7

［下水道による都市浸水対策達成率］

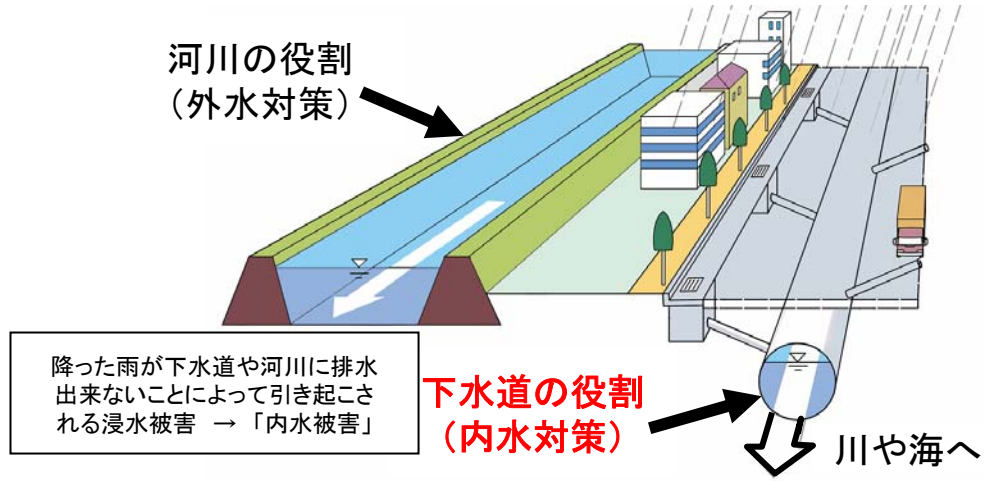
公共下水道又は都市下水路による都市浸水対策の整備対象地域の面積のうち、概ね5年に1度の大雨に対して安全であるよう、既に整備が完了している区域の面積の割合

$$\text{下水道による都市浸水対策達成率(\%)} = \frac{\text{都市浸水対策整備済区域面積}}{\text{都市浸水対策整備対象区域面積}} \times 100$$

○都市浸水対策整備対象区域面積
→概ね5年に1回の程度の大雨に対して、市街地の浸水対策が必要な区域の面積

○都市浸水対策整備済区域面積
→ 都市浸水対策整備対象区域面積のうち、公共下水道等による浸水対策が完了している区域の面積

下水道事業（都市浸水対策整備）により浸水被害の軽減を図ります。



下水道整備効果（都市浸水対策）事例［福島県郡山市］

福島県郡山市では、浸水被害の発生していた地区において雨水ポンプ場の整備（平成１２年供用）を図った結果、浸水被害が軽減された。

		床上浸水（戸）	床下浸水（戸）	日雨量（mm）	最大時間雨量（mm）	浸水面積（ha）
H10.8.27	豪雨時	20	7	101	11	12.8
		整備後は被害軽減				
H14.7.10	台風6号	0	3	130	27	0.5

［浸水状況］



［整備後］

